

コンポーネント / イベント一覧

No	コンポーネント	説明	イベント
1	ラベル	文字 / 文字列を表示するオブジェクト	—
2	ボタン	画面タップや割当した物理キーを押したときにイベントを発生させるオブジェクト	クリック時
3	エディット	文字列を入力するオブジェクト	ENTER 時、スキャン時、フォーカス時
4	リスト	一覧形式で表示するオブジェクト	クリック時、ENTER 時
5	テーブル	表形式で表示するオブジェクト	クリック時、ENTER 時
6	スピナー	リスト内の項目を選択するオブジェクト	選択時
7	チェックボックス	ON/OFF のチェック状態を表示するオブジェクト	チェック時
8	ラジオボタン	複数の項目から 1 つを選択するオブジェクト	—
9	イメージ	画像を表示するオブジェクト	—
10	タイトルバー	画面上部にタイトルを表示	—
11	トースト	短い時間でメッセージを表示	—
12	ブザー	ブザー / LED / バイブレーション用	—

製品

No	機能	ライトプラン	基本プラン
1	基本機能	画面表示、業務ロジック実行、DB コネクション管理、マルチデバイス機能、二重送信防止機能、端末内ファイル自動更新機能、ハンディターミナル端末制御機能 (ブザー / バイブレーション)	
2	拡張機能	—	プリンタ制御機能、ハンディターミナル端末制御機能 (物理キー / バーコードスキャナ)

※ライトプラン：LED は Android 標準機能で制御できないため未対応  
 ※基本プラン：ブザー / LED / バイブレーションは SDK で制御する端末のみ対応

動作環境

No	項目	概要内容
1	サーバ環境	OS : Java11.0 以降が動作するもの (AdoptOpenJDK 11.0.7) Windows Server2012、Windows Server2012R2、Windows Server2016、Windows Server2016、Windows Server2019、Linux、その他 AP サーバ : Java EE7 に準拠しているもの Tomcat9、その他 データベース : JDBC 接続が可能なもの Oracle (19C 以降)、SQLSever (2012 以降)、MySQL (5.7 以降)、PostgreSQL (10 以降) その他 ※データベースは必須ではございません。データベースにアクセスするアプリケーションの場合のみ使用します。
2	サーバ環境推奨スペック	OS : JDK11 以降が動作する OS CPU : OS および AP サーバの推奨スペックに依存します。 メモリ : OS および AP サーバの推奨スペックや Rundlax 上で動作させるアプリケーションで消費するメモリ容量、サーバへアクセスするクライアント端末の台数に依存します。 目安として AP サーバに 1GB 程度割当ててください。 ストレージ容量 : OS および AP サーバの推奨スペックに依存します。 Rundlax が使用する容量は 100MB 以下でございます。 ※Rundlax には特別なシステム要件はございません。
3	開発環境	OS : Windows10 IDE : Eclipse、Android Studio など Eclipse の場合は 4.18.0 (2020-12) 以降 <sup>※1</sup> Android Studio は 3.6.2 以降 <sup>※2</sup> ※1 記載しているバージョンは推奨値です。旧バージョンでも開発できる可能性があります。開発言語は Java となります。 ※2 オンラインで動作するアプリケーションをインストールする際には使用できません。 オフラインで動作するアプリケーションをインストールする場合や、Android エミュレータで動作確認を行う場合に必要となります。 記載しているバージョンは推奨値です。旧バージョンでも開発できる可能性があります。 開発言語は Java または Kotlin となります。
4	通信方式	HTTP / HTTPS サーバからクライアントへのレスポンスデータは、バイナリ形式
5	対応 OS	Android7.0 以降

保守サポート (年額) 内容について

- ①サポート対応時間 9:30~18:00 土日祝祭日年末年始は除きます。
- ②サポート方法 電話、メールでの問い合わせ対応、データ調査、ログ解析、障害不具合修正対応、調査内容の切り分け作業 (オンサイト保守含まず)
- ③交通宿泊費用 別途ご請求させていただきます。
- ④サポート対象外 Web、APサーバ及びアプリケーションはサポート対象外とします。
- ⑤保守開始 納入後1ヶ月間無償期間として翌月よりサポート契約をさせていただきます。更新時については更新2ヶ月前にご連絡させていただきます。

※本カタログに記載されております社名及び商品名は、各社の登録商標です。  
 ※本カタログに記載された内容及び製品の仕様は改良の為予告なく変更することがあります。  
 ※本カタログ記載の情報は、2022年5月現在のものです。



東京都豊島区南大塚 3-43-1 大塚HTビル2F  
 TEL : 03-5957-5581 FAX : 03-5957-5601  
 URL : https://www.sharedsys.co.jp



SS-0002022.05



業務アプリケーション開発ツール



業務用 Android アプリ開発決定版

DXの進化したデジタル技術を浸透させることで  
ビジネスをより良いものへと変革する事に  
貢献します。

Androidアプリ開発のお悩み解決

これまでのお悩み

- Android専任エンジニア不足
- OSバージョンアップ時の対応にコストが掛かる

製品名の由来

新製品名は「Rundlax (ランドラクス)」。  
名前の由来は Rundle (車輪)+Axis (軸) の造語から成り立っています。  
アプリケーションのベース(軸)として、様々な機能(車輪)を提供するとともに、  
車輪と軸を組み合わせることで前に進むように、お客様と共に進んでいきたい、  
シェアードシステムの次の軸(幹)となる製品になってほしい、  
という願いを込めた製品名です。

- Android標準オブジェクトにより、表現豊かなUIを実現
- AndroidOSバージョン7.0以降であれば「メーカー」「機種」を問わず利用可能



各分野でアプリ開発に  
お役立て出来ます。



Rundlaxの特長

特長① Androidの基本操作

Rundlaxでは、  
Androidの基本的な操作に  
対応しており、  
スワイプでの画面遷移や  
画面スクロールが可能です。

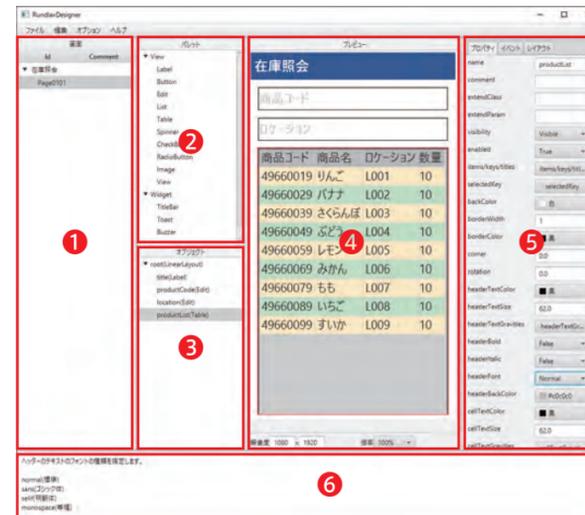


特長② 画面一部更新

Rundlaxでは、  
サーバから表示データを受信して  
画面を表示しますが、  
画面の一部だけの表示データを受信して画面を更新することで、  
通信データ量を削減できます。



開発ツール Rundlax Designer



No	名称	説明
①	画面一覧	画面グループと画面追加 / 削除 / 切替を行います。
②	パレット	画面に追加するオブジェクトを選択します。
③	オブジェクト一覧	画面上のオブジェクトをツリー表示します。
④	プレビュー	画面のプレビューを表示します。
⑤	プロパティ	オブジェクトの属性を編集します。タブを切替えて使用します。
⑥	メッセージ	編集するプロパティの説明を表示します。

特長③ カスタムコントロール

Rundlaxでは、  
標準的な画面オブジェクトを用意していますが、  
アプリケーションの開発者がカスタマイズして、  
独自の画面オブジェクトを  
表示する事が可能です。



特長④ デバイス制御

Rundlaxでは、  
Android端末のブザー、  
バイブレーション、物理キーや、  
機種によっては端末内蔵の  
バーコードスキャナが  
制御可能です。

